

| | | | |
|--------------|---|--------|-------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミル | | |
| 事業名 | NPO 運営の疑問の解消と「NPO のできることリスト」整備のためのファーストステップ | | |
| 助成事業区分 | 協働助成事業(一般型) 【重点課題: 県民活動の活性化に向けた体制づくり】 | | |
| 団体の 所在市町村 | 山形市 | 事業費 | 1,511,959 円 |
| | | うち助成金額 | 1,500,000 円 |

写真①



写真②



■事業目標

・多様化する社会問題の解決には、かねてより様々な手法やアイデア等を有するNPOに期待が寄せられているものの、NPOが有していない資源を持つ企業・地縁組織・自治体等と一体となった取り組みも求められることから、課題解決の選択肢ともいえる各NPOの得意な事柄等の可視化を図ることで、多様な担い手による新たな協働の関係づくりの第一歩とする。そして社会課題と向き合うNPOの基盤向上に向けた事業も行い各NPOの運営力の安定化を図ることも通して、持続可能な社会づくりに寄与する。

■実施内容

①「NPO法人のための会計講座・個別相談会」 各地域で4回開催 写真①
講師: 芳賀会計事務所 芳賀長悦氏 芳賀和貴氏

ソリマチ株式会社 武田秀人氏

参加人数: 32 団体 37 人

② 「はじめてのインボイス講座&電子帳簿保存法」
山形市 1 回 写真②

講師: 佐藤税務会計事務所 北村憲一氏

参加人数: 17 団体 18 名

③ NPOの自治体ができること・協働するとできることの調査とウェブ上でのリスト整備 ウェブ掲載: 8 団体

④ 相談対応業務

相談件数: 28 件

■事業の成果

・県内の NPO 団体と中間支援団体の会計力を向上させることによって、団体の基盤強化につながり NPO 会計についての課題解決ができ、新たな制度に対応するための実務を学ぶことができた。

・改めて、中間支援団体の活

動が地域課題とつながっていることを認識し、できることを考える機会になった。

・NPO 法人のニーズに応えることができた。

■今後の展望

・NPO が主な目的とする「社会的な課題の解決」に注目が集まる傾向にあるため、多様な事業モデルについて周知をしていく必要がある。今年度実施したリストづくりの内容は有効であるが、まだまだ再考の余地はある。また解散法人や事業停滞法人の増加、事業資金の先細り、活動人員や職員の固定化が難しい実情などから、NPO が抱える運営上の悩みは様々であったため、相談対応は引き続き行う。また、NPO に関するさまざまな制度への認識については、とても薄く、何らかの方法で今後周知を図っていきたい。